

横田の消防士 空自との合同消火訓練を実施(1)

Yokota firefighters conduct bilateral training with JASDF

November 4, 2022

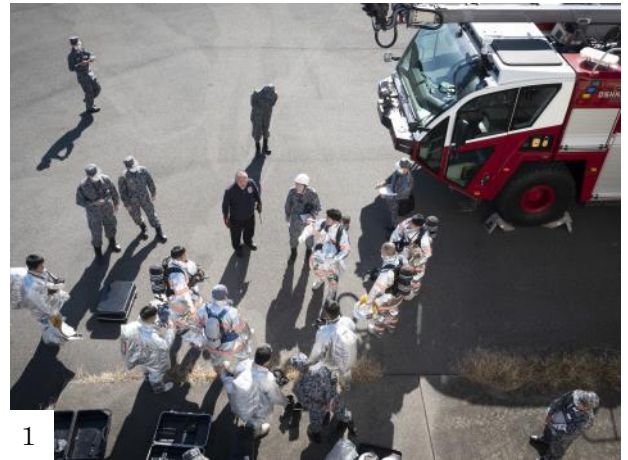
By Machiko Airta
374th Airlift Wing Public Affairs

横田基地で10月26日と28日、第374施設中隊と航空自衛隊の合同消火訓練が行われた。

(写真1)訓練を前に、説明を聞く航空自衛隊の消防士たち。

今回の訓練では、6つの航空自衛隊基地及び分屯基地から計35人の消防士が横田基地に集まり、第374施設中隊横田消防署の隊員と共に消火活動を演練した。

撮影:10月26日



(写真2)防火服を着る第374施設中隊消防車オペレーターのトーマス・リノ軍曹。

日米の隊員たちは、さまざまな技術を共有し合いながら相互運用性の強化し、強固なパートナーシップを築いた。

撮影:10月28日



(写真3)第374施設中隊消防士ジェレミー・リンガー一等空兵(右)に日本の消防ホースの使い方を教える航空自衛隊の消防士(左)。

第374施設中隊と航空自衛隊は、毎年、合同訓練を行い、双方の装備及び消化の手法を実際に試すことにより、互いのスキルを向上させている。

撮影:10月28日



横田の消防士 空自との合同消火訓練を実施(2) *Yokota firefighters conduct bilateral training with JASDF*

November 4, 2022

By Machiko Airta
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真4)横田基地で行われた第374施設中隊と航空自衛隊との合同消火訓練で、建物の実火消火訓練を無事に終え、ホースを引き揚げる第374施設中隊消防車オペレーターのコーリー・ホワイト一等空兵。

撮影:10月28日



4

(写真5)煤(すす)を払うために噴霧を受ける第374施設中隊横田消防署の消防士。

当訓練では、航空機及び建物の実火訓練を行った。

撮影:10月28日



5

(写真6)航空自衛隊と第374施設中隊横田消防署の消防士の集合写真。

日米の隊員たちは、さまざまな技術を共有し合いながら相互運用性の強化し、強固なパートナーシップを築いた。

撮影:10月26日



6